

I Hコンロ、エコキュート、太陽発電のソーラーパネルなど、省エネ設備の販売、施工もしています。お気軽にご相談ください。

リフォームワンポイントアドバイス

階段下のデットスペース利用。

生活が豊かになった今日、生活用品も増え家の中には家具、衣類、食器、食品、寝具、趣味の物……などたくさん生活用品があふれています。これらの収納場所に困ったことありませんか。今回は新たに使いやすい収納庫を作った事例を紹介いたします。

工事情報

■収納の目的と使い易さ■

約築三十年のお客様から、収納庫工事のご依頼ありました。

キッチンの引き出しや吊り棚、食器棚、洗面台、床下収納、下駄箱、押入れ、クローゼット……家の中には収納場所がたくさんあります。

収納庫と言っても大きな物ではなく、よくある階段下やトイレの壁などのデットスペースを利用した収納場所のことです。

床下収納庫は身体をかかめて物を上げ下げするため、果実酒、しょう油、お酒、ぬかづけ……などの重い物の出し入れは結構大変です。

そこで、かがまなくても良く、出し入れが楽、使い勝手が良い収納庫を、新たに階段下のデットスペースに作りたいということでした。

■デットスペース■

靴箱、押入れ、クローゼット、床下収納、壁に埋め込む本箱や小物収納棚、天井裏のロフトなど、皆さんのお宅にも収納場所がたくさんあると思います。

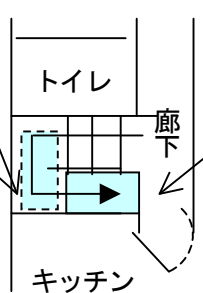
収納に関して場所が不便、形が使い難い、容量が小さいなどの悩みが多くあります。が、意外と簡単に見直しできる場合もあります。

例えば、最近の玄関収納は、従来の下駄箱に比べて、上空間を有効利用して縦長になっているため、靴、傘、コート、帽子、スリッパなど別々に置いてあるものを一箇所で収納できるようになっています。

現在取り付けている腰高の下駄箱を、現在の背の高い下駄箱に取り替えるだけで、何も難しい工事をしなくても、空いている空間の有効利用ができ、収納力がアップします。それに、玄関回りがスッキリします。

■新たな収納庫■

元々ある階段下収納



新たに作った階段下収納

今回の場合、階段はキッチンの横にあり、すでに廊下側からドアが開閉する収納庫がありました。

しかし、回り階段のため図面と現場確認したら、すでにある収納庫の横にもう一つ、キッチンから出し入れできる収納庫を作れることが分かりました。

収納庫サイズは、約幅800×高1700×奥1700mmで、奥の天井は階段下のため多少斜めなので、ちょっと小さい目の押し入れです。床下収納の一個分と比べると約二十倍の収納容量にもなります。

出入り口には、楽に出し入れできるようにキッチン床と段差を無くし、壁はお客様が自由に棚や仕切りを、後付けで細工できるように厚い壁板で仕上げました。

■編集後記■

「階段下はあまり使えない」という意識がありました。が、今回の工事で「意外と使える」に変わりました。何事もやってみないと分からないものですね。

押し入れをクローゼットにする。新たに床下収納、天井裏のロフトを作る。下駄箱を取り替える。物置小屋を作る。など収納に関する悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。

リニューアル工房
シンテックス

市原市桜台1-4-37

<http://www.egao-sintex.com/>

TEL0436-66-8737

営業時間：月～日曜日 8:30～20:00